



保証人の皆さまへ

鹿大だより

第33号

◎編集・発行／国立大学法人 鹿児島大学広報センター
〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号 TEL:099-285-7035 FAX:099-285-3854 E-mail:sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp



10周年企画さつもんモニュメントが完成!
インフォメーションセンターに会いに来て下さい

令和5年度

令和6年度

卒業式・修了式 入学式

卒業生・修了生の皆様、新入生の皆様、誠におめでとうございます。
今年度の式典は、5年ぶりにご家族の参列も可能となり、以前の雰囲気
が戻りました。式典の様子はYouTube鹿大チャンネルでご覧いただけます。

令和5年度 卒業式・修了式 (2024年3月25日)



学部生1,823名、大学院生549名、計2,372名が本学を卒業・修了しました。式では佐野輝学長が各学部および大学院研究科の総代21名に学位記を授与し、内田浩汰朗さん(工学部3年)が在学学生を代表し送辞を、井本裕介さん(教育学部4年)が卒業生を代表して答辞を読みました。(※所属・学年は3月時点のものです)



在学学生代表送辞者
工学部3年 内田 浩汰朗さん

同じ高校出身の先輩には、履修登録でアドバイスをいただいたり、分からないことをたくさん教えていただいたりや本当にお世話になりました。卒業されて寂しい気持ちもありますが、感謝の気持ちとこれからの活躍を期待しています。大学にもぜひ顔を出してください!



卒業生代表答辞者
教育学部4年 井本 裕介さん

1・2年次はコロナ禍でほとんど大学に行けず、思い描いていた大学生活とは全く違いました。しかしだからこそ、一回の授業の価値や友人の大切さ、両親への感謝の思いを強く持つことができました。ここで学んだことを生かして、大学院でもさらに学んでいきたいです。

令和6年度 入学式 (2024年4月5日)



今年度の入学生は、学部生1,918名、大学院生590名の計2,508名。ご来賓および多くのご家族の皆様にもご参列いただきました。佐野輝学長による入学許可に続き、新田杏菜さん(理学部)、吉原知子さん(共同獣医学部研究科)が入学生宣誓を行いました。



学部入学生代表
理学部1年 新田 杏菜さん

大学では医療薬の研究をしたいと考えていたのですが、鹿児島大学のオープンキャンパスでいろいろな研究室を見学して、ここでも研究できる!と進学を決めました。大学ではサークル活動やバイトもしてみたいです。卒業後の進路はまだ決めていないですが、4年間しっかり勉強して見つけていきたいと思っています。



大学院入学生代表
共同獣医学部研究科 吉原 知子さん

日本固有の種である日本在来馬を研究しており、3月まで長崎県の対馬で働いていました。4月からは開設したばかりの南九州畜産獣医学拠点で在来馬を活用したホースセラピーに取り組みながら、さらに大学院で在来馬の遺伝研究などを行っていく予定です。在来馬の活用機会が増えるよう、頑張っていきたいです。



鹿児島大学の海外留学プログラム制度

鹿児島大学では学生が世界に羽ばたいていくためのさまざまな機会を用意しています。新型コロナウイルスの世界的流行により休止していた国際交流も、2023年度から徐々に再開され、短期海外研修や協定校派遣留学、学内での国際共修授業のさらなる充実が図られています。

【短期海外研修】

集中講義の授業として開講される10日間から1カ月程度の海外研修です。多くの場合は長期休み期間中に実施されます。

「地域人材育成プラットフォーム」か「こしまグローバル教育プログラム」のオーストラリア・パース研修(5週間)など、2年生以上が履修できる高度共通教育科目として実施される研修には学生のみで渡航するものもありますが、多くの場合は渡航先地域に精通した引率教員による事前事後学習も含んだプログラムとなっています。

【協定校派遣留学】

鹿児島大学の学生が、アジア、ヨーロッパ、オセアニア、米国など世界中にある学術交流協定校に、勉学および研究のために原則として1学期以上1年未満留学するものです。学内での募集・選考後、協定校へ受け入れ手続きを行います。

留学期間中は休学せず、鹿児島大学に在籍して授業料等を納付することが前提となり、留学先大学の授業料等は交流協定に基づき免除されます。

【学内の奨学金】

短期海外研修や協定校派遣留学では、給付型の学内支援金や各種支援制度があります。受給額は奨学金の種類、滞在国によって異



協定校派遣留学生としてシドニー工科大学に2023年度から留学中の前園真鈴さん(法文学部)



2023年8月に実施した韓国での海外研修「文化人類学実習」法文学部開講の様子



伝えよう! 鹿大生の海外体験

【海外での危機管理】

海外渡航前には、豊富な知識と経験を持った教員による危機管理講習を含む事前学習が行われます。また、学生は海外渡航においては必ず保険への加入が義務付けられ、不測の事態に備えます。

【情報提供】

毎年春に派遣留学説明会、12月には派遣留学から帰国した学生による報告会を開催しています。成長して帰国した学生たちによる発表をどなたでもお聴きいただくことができます。

留学期間中は休学せず、鹿児島大学に在籍して授業料等を納付することが前提となり、留学先大学の授業料等は交流協定に基づき免除されます。

歯学部女子バレーボール部

- 12名(女子12名)
- 主将:近藤 実優さん(歯学部3年)

私たち歯学部女子バレーボール部は毎週火・木・土曜日に練習をしています。全日本歯科学生総合体育大会では3連覇を達成しており、今年も優勝を目指して日々練習に励んでいます。練習以外にもドライブやグランピング等を開催するなど、学年分け隔てなく仲の良い部活です。

全日本歯科学生総合体育大会で優勝



九州歯科学生総合体育大会出場時の写真



少林寺拳法部

- 15名(男子9名、女子6名)
- 主将:末松 竜馬さん(農学部3年)

「少林寺(笑)?」と思っているあなた! 私たちはほとんどが未経験者のなか、九州・全国区の大会で好成績を収める実力派です。モットーは「みんなで楽しく」。下手でもいいんです! サークルのような雰囲気作りにも力を入れています。「サークルはゆるすぎるけど部活はきつそう」と思っているみんな! まずはインスタをのぞいてみよう!

とても仲の良いサークルです



少林寺拳法全日本学生大会にて優勝&8位入賞

弓道部

- 57名(男子35名、女子22名)
- 主将:波多野 晴太さん(法文学部3年)

私たちは毎週水・土曜日に練習を行っています。大会が近くなると、出場メンバーはほぼ毎日一生懸命練習に取り組んでいます。昨年は男子が8年ぶりに全日本学生弓道王座決定戦に出場してベスト4の成績、女子も全国大学弓道選抜大会の出場を決めました。

4年生卒業射会



九州学生弓道選手権大会にて男子は優勝、女子は準優勝



CLUB & CIRCLE

ジャズバンド部 Cherry Island Jazz Orchestra

- 22名(男子8名、女子14名)
- 部長:大家 さくらさん(水産学部3年)

私たちは毎週月・水・土曜日に活動しており、少人数のコンボと大人数のビッグバンドでジャズを演奏しています。元々ジャズをしていた人は少なく、クラシックや吹奏楽から入った人や楽器未経験者がほとんどです。夏と冬にあるライブに向けて、みんなで日々楽しみながら演奏しています!



冬ライブでのビッグバンドの演奏



お笑いアトリエespoir

- 18名(男子5名、女子13名)
- 主将:山田 大陸さん(水産学部3年)

毎週火曜日の18時にネタ合わせや大喜利大会などの活動をしています! 2023年の大学祭ではお笑いライブ開催、メディア出演、特設ステージにも出演しました。個性豊かな芸人揃いで、面白さに磨きをかけた方、お笑い好きな方にオススメ!! 入部すれば日常会話の中でも笑いが取れるようになること間違いなし!

大学祭でのお笑いライブ



みんなお笑いが大好きです!



手話同好会

- 約30名(男子3~4名、女子約25名)
- 部長:住本 唯さん(教育学部3年)

毎週木曜日の18時から「みんなの手話」(NHK)のビデオを使って、ゆくりと楽しく手話を学んでいます。顧問の先生もとても優しく、花火やピンゴ大会などサークルメンバーが楽しめるイベントも開催しています。また、ろう者とのボウリングや手話での交流会などの活動も行っているので、興味がある方は気軽に見学に来てください!



新款ピクニック

ろう者の方々と一緒に忘年会



ようこそ! 小澤研究室へ

ウイルス学の知識や技術を基盤に幅広い研究を行っている小澤研究室。鹿児島を主な研究フィールドとしつつ、行政機関や民間企業とも連携を図りながら研究活動や情報発信を展開しています。

獣医学部は5年次に研究室の配属が決まります。基本的に卒論テーマは私が提案して、そのテーマに沿った研究を学生が進めていく感じです。

私の専門はウイルス学なので、絶滅危惧種であるツル類が越冬する出水平野の環境試料や野鳥の死骸を対象に、鳥インフルエンザウイルスの浸潤状況や流行株の遺伝的特性などを調べています。

2012年に鹿児島大学に着任した当時はコネクションがほとんどなく、他機関とのつながりも希薄でした。ただ、着任当初から野生動物のウイルスを独自調査していた私の研究室には環境省などの行政機関が把握したい情報がたくさん集まっていたので、そこから関係性が強まっていった感じです。今では新聞やテレビなどにコメントを求められることも増えました。

以前はウイルス調査のため、冬になると出水平野に行き学生と一緒に鴨のふんを拾っていたのですが、地元の方々のご協力のもと、野鳥生息地の環境水を定期的を送っていただく体制が整ったので、あまり行かなくなってしまいました。現在取り組んでいる研究活動は実験室で完結することが多いです。

研究室は教員と学生の部屋を分けたくなかったので一緒にしています。部屋を分けてしまうと、文字どおり壁ができるような気がして、私が

話したい時、学生が話したい時にすぐに話せるようにしたので、あまりピリピリ感はないと思います。私自身が自分の研究をいっぱい抱えているので、むしろ学生より実験室にいる時間が長いかもしれません(笑)。

学生には私の指示を待つのではなく、まずは自分で考えることを求めています。もちろん自分で考えられる学生もいますが、いろいろな学生がいるので杓子定規にいけるわけはありません。それぞれの個性を見極めながらアドバイスをしています。



細胞培養の実験風景



研究室はいつも和気あいあいとした雰囲気

共同獣医学部 共同獣医学科 小澤研究室

- 指導教員 小澤 真准教授
- 所属学生 博士課程2年1名
学部6年生2名
学部5年生2名
(令和5年度)



STUDENT'S VOICE

動物の病原体に関する研究がしたくて、研究活動に力を入れている小澤先生の研究室を選びました。研究などで行き詰まることもあっても、先生にすぐに相談できる環境だと感じ、先生と学生が同室であることも決め手となりました。実際、失敗してもすぐにその原因を確認してもらうことができ、自分で試行錯誤できる環境だったので研究しやすかったです。先生は「自分で考える力」をとっても大切にされていて、まだまだかまいませんが2年間で少しは身に付いたかなと思います。

卒業後は東京海洋大学の大学院に進学して、魚病について研究する予定です。養殖魚などを病気から守る「水産獣医師」という仕事はあまり知られておらず、その数もまだ少ないのですが、だからこそやりがいがあると感じています。小澤研究室で学んだことを生かして、この先もしっかり研究を続けていきたいです。



共同獣医学部 共同獣医学科 (令和5年度修了) 合田 祈さん

「研究一直線」 本学教員の研究内容等を紹介しています。ぜひご覧ください。



NINE TOPICS

9 トピックス

今号のテーマは「ユニークな授業や実験・実習の様子」。授業は退屈じゃない！ユニークな実験や実習の舞台裏をご紹介します。専門分野での実践力も身に付ける学生たちの取り組みをお届けします。

法学部



「裁判員等経験者と法曹三者との意見交換会の傍聴」

中島 宏教授、上原 大祐准教授

法学コースの学生が、鹿児島地方裁判所で行われた「裁判員等経験者と法曹三者との意見交換会」をリモートにて別室から傍聴させていただき、大学の講義等で学んでいる事柄への理解を深めることができました。また、その際に裁判所の許可を得て、傍聴した学生で実際に裁判員裁判が行われている法廷において、記念撮影を行いました。



「比較心理学演習」

富原 一哉教授

比較心理学ではさまざまな動物の行動を比較して、人間の心の進化を探っていきます。演習では学んだことをもとに自主実験・調査を行い、その成果について学会発表します。学生の発表は昨年度・今年度と、2年連続で九州心理学会の若手研究奨励賞を受賞しました。

教育学部



「西洋教育史概論」

杉原 薫准教授

個人で作成した最終レポートを活用して授業の振り返りとまとめを行いました。同じ授業を受けたとしても自分とは異なる視点を持って授業のまとめをしている他者の学びを参考にし、自身の最終レポートをブラッシュアップしました。

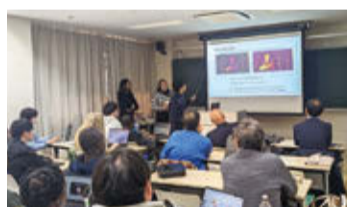


「地学野外実験」

松井 智彰教授

地学野外実験は土曜日に3回に分けて集中講義で実施しています。講義や室内実験の科目とリンクした内容で授業を構成して学習の相乗効果をねらい、地域の自然環境を理解した力量ある理科教員の養成を目指しています。

理学部



「南アフリカ学生・研究者との交流と共同研究」

中西 裕之准教授

1月11日から29日まで、南アフリカ共和国のノースウェスト大学と南アフリカ大学の教員・学生計8名が鹿児島大学を訪れました。両国の学生は電波天文学の講義や共同研究を通して交流を深めました。



「卒業研究発表会」

物理・宇宙PG教員

2月15日、物理・宇宙プログラム卒業研究発表会が行われました。計33件のポスターが展示され、1年間卒業研究を行った4年生がその成果を教員や同級生、先輩や後輩に説明し、大盛況でした。

医学部



「補完医療」

網谷 真理准教授

補完医療では東洋医学の知識を使って漢方の選び方を学びます。難しそうな印象の東洋医学ですが、医学部では漢方の煎じ体験やシミュレーショントレーニング、カードワークやグループ学習等の体験学習を通して、五感を使って実践的に学びを深めます。



「チーム医療実習(保健学科共通専門教育科目)」

松成 裕子教授、松田 史代助教、柳田 信彦助教

4年生のチーム医療実習では、今回は全国障がい者スポーツ大会をフィールドとし、各選手団のサポートボランティアとして選手関係者と連携・協働し、その選手を支え、多くの方々との交流から学びと理解を深めました。

歯学部



「早期体験実習(1年次)」

大学病院歯科の全ての診療科を回り、実際の診療の様子とそこに携わる多職種の活動を見学します。見学終了後は「医療者としてのあり方」をテーマに討論を行い、個々の意見を出し合うとともに情報共有を図ります。



「地域医療学実習(3年次)」

地域歯科医療の最前線を担う開業歯科医院に向かい見学を行なうことで、地域における保健・医・福祉・介護の各分野の役割および多職種連携のあり方を学ぶとともに、歯科医師を志す者としての心構えを養います。

工学部



「海岸測量実習」

長山 昭夫助教

海岸測量は海洋土木工学PGの創立時から続く伝統の実習で、3年生を対象として夏休み期間中に日置市吹上浜で実施されます。学生たちは班となり、縦断測量・横断測量・地形測量を実施することでチームワークを高めます。



「建築設計Ⅰ・Ⅱ」

木方 十根教授、柴田 晃宏教授、小山 雄資准教授、鷹野 敦准教授、細海 拓也准教授、増留 麻紀子准教授、朴 光賢助教

建築設計では、与えられた課題に対して学生が自分の創りたい建築を、図面・スケッチ・模型・言葉を使い、教員と直接的なコミュニケーションをとる「エスキス」を通じて、その建築を形にしていきます。

農学部



「農場実習Ⅱ」

下田代 智英准教授

農場実習を通じて、作物を作る楽しさと難しさを体験することができます。写真はサツマイモ収穫とアシストスーツ体験で、環境制御型農業やスマート農業など新しい技術にも対応できる学生の育成を目指しています。



「森林利用学実習」

牧野 耕輔助教

スギやヒノキを伐採してから販売するまでの木材生産の流れを学びます。垂水市にある高隈演習林に宿泊しながら、チェーンソーなどの林業機械や道具を使って実践的な実習を行っています。

水産学部



「増養殖学実験」

小谷 知也教授、石川 学教授、田角 聡志准教授、横山 佐一郎助教

魚介類養殖における基礎的な知識および技術の修得を目的とした実験科目です。飼料作成や化学組成分析方法、魚病診断の基礎、魚類の体構造について学びます。写真は蒸したチダイから骨を全て採取して骨格標本を作っているところです。



「養殖・水産食品加工実習」

小谷 知也教授、進藤 謙准教授

国際食料資源学特別コースの実習で、養殖現場や水産物の食品加工について学びます。ツナ缶やさつま揚げの製造について学ぶと共に、養殖や水産の現場を見学します。写真は鹿児島県長島町の東町漁協の魚市場を見学しているところです。

共同獣医学部



「病理臨床解剖学実習」

一三三 達郎准教授

動物に生じる病気の原因などを究明する獣医病理学について、5年生では実際の症例を教材として学んでいます。この実習では獣医師として必要な病理学的知識および手技を再確認し、病理学的診断法を習得します。



「産業動物総合臨床実習」

百武 幸治助教

共同獣医学部附属動物病院には、大崎町に大隅産業動物診療研修センターという動物診療所があります。5年生は2~3名で1班となり、月曜日から金曜日まで泊まりがけで実際の牛や豚の往診に参加しています。動物を診るのはもちろん、飼育環境を観察することの重要性などを学んでいます。

EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY 2023.10-2024.3

NEWS

このほかにも公式HPやInstagramにて、さまざまな情報を発信中!



「令和5年度学長と学部新入生との懇談会」を開催
11月13日、「令和5年度学長と学部新入生との懇談会」を開催しました。この懇談会は学長自らが生徒の現在の状況や将来の希望を聞き、今後の大学運営に役立てることを目的としており、各学部から15名の学生が出席しました。



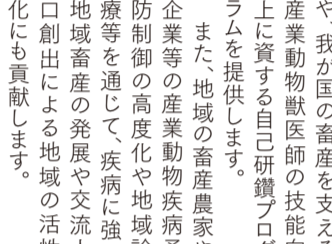
共通教育において成績優秀な学生を表彰
10月23日、令和5年度共通教育センター長賞表彰式を挙行了しました。この表彰は共通教育科目の通算GPAの値が3.5以上であった2名の学生を共通教育における成績優秀者として表彰するものです。

共通教育において成績優秀な学生を表彰
10月23日、令和5年度共通教育センター長賞表彰式を挙行了しました。この表彰は共通教育科目の通算GPAの値が3.5以上であった2名の学生を共通教育における成績優秀者として表彰するものです。



第62回鹿大祭を開催
11月10日から12日にかけて、第62回鹿大祭を開催しました。第62回のテーマは「新たな空へ飛びたとう!」創造の翼をひろげて。コロナによる制限が緩和され、質・規模ともに完全開催をめざす鹿大祭。皆で力を合わせて盛大に実現し、それを通じて私たちの創りだす学生文化をより素晴らしいものにして、という前向きな意味が込められました。

第62回鹿大祭を開催
11月10日から12日にかけて、第62回鹿大祭を開催しました。第62回のテーマは「新たな空へ飛びたとう!」創造の翼をひろげて。コロナによる制限が緩和され、質・規模ともに完全開催をめざす鹿大祭。皆で力を合わせて盛大に実現し、それを通じて私たちの創りだす学生文化をより素晴らしいものにして、という前向きな意味が込められました。



南九州畜産獣医学拠点開設記念式典を挙行政
3月9日、令和6年4月にオープンする南九州畜産獣医学拠点通称SKLV(スクラブ)の開設記念式典が、県立財部高等学校跡地に整備したSKLV内の施設で盛大に挙行されました。式典には五位塚剛曾市長と共同事業者の佐野学長をはじめ、来賓の方々や関係者等約250名が出席して完成を祝いました。

南九州畜産獣医学拠点開設記念式典を挙行政
3月9日、令和6年4月にオープンする南九州畜産獣医学拠点通称SKLV(スクラブ)の開設記念式典が、県立財部高等学校跡地に整備したSKLV内の施設で盛大に挙行されました。式典には五位塚剛曾市長と共同事業者の佐野学長をはじめ、来賓の方々や関係者等約250名が出席して完成を祝いました。

R6年度 全学キャリア・就職支援プログラム(予定) ※1

Table with columns for student level (1-2 years, 3 years, 4 years, all-year) and dates of various career support programs.

※1 上記以外にも各学部主催で就職ガイダンス、説明会等を開催しています。詳細は各学部の就職担当窓口まで ※2 要相談。詳細はインターンシップ窓口まで

さっつん誕生10周年 祝! 2013年度に学内公募から誕生した鹿児島大学公式マスコットキャラクター「さっつん」。誕生から10周年を迎え、愛らしいさっつんをもっと広めていくために記念グッズの制作を企画しました。企画会議にはさっつん愛あふれる広報サポーターも参加してくれました!

令和6年度学事日程 (共通教育の例)
4月5日 入学式
4月9日~7月30日 前期授業
7月31日~8月7日 前期未試験
8月8日~9月30日 夏季休業
9月2日 成績発表
9月9日~10日 後期履修申請期間
10月1日~2月3日 後期授業
11月15日~18日(予定) 大学祭
12月27日~1月3日 冬季休業
1月29日~2月10日 後期末試験
2月21日 成績発表
3月13日~14日 令和7年度前期履修申請受付期間
3月25日 卒業式

編集後記

今号は、読者アンケートで人気の高い学生サークルを特集しました。文化、音楽、体育系サークル合わせて198団体が活動中。昨年、39年ぶりに全日本大学駅伝に出場を果たすなど、学業と合わせて積極的に挑戦する学生が多数在籍しています。大学の最新情報はホームページで随時更新していますのでぜひご覧ください。

※本紙の送付にあたっては、学生が学務Webシステムに登録している住所データを利用しています。住所変更時や送り先の変更をご希望の場合は、学生に変更手続きを行うようご連絡ください。住所を含む学生情報の変更は、学生本人のみ行うことができます。

※本学の課外活動は大学指導の下、新型コロナウイルス感染防止対策を充分にとり活動しています。

気軽に相談ください!
学生何でも相談室
鹿児島大学公式HP
広報誌「鹿大ジャーナル」
YouTube 鹿大チャンネル
広報センター Instagram